公益社団法人
東京都理学療法士協会
NO.227 News

2023.8.25 発行
◆発　行　公益社団法人
　東京都理学療法士協会
◆発行人　森島　健
◆編集人　井出　大
医療法人社団永生会
法人本部　地域支援事業部
〒193-0942
八王子市椚田町 590-4
TEL :042-661-4025

第 42 回東京都理学療法学術大会参加者募集のご案内

大会長　卜部　吉文
準備委員長　真庭　弘樹

●参加者募集中

開催まで 1 か月を切りました。今年は赤羽会館にて現地開催のみとなります。多くの皆様にご参加いただき、42 回目の東京都理学療法学術大会を一緒に盛り上げていきましょう！

●大会概要

第 42 回東京都理学療法学術大会
テーマ：幸福社会に向けた理学療法士の可能性
～フレッシュパワーの躍動～

●日程

2023 年 9 月 17 日（日）

●会場

赤羽会館（現地開催のみ）

●大会 HP

https://pttokyo42.com/

●参加申し込み方法

日本理学療法士協会マイページより申し込み
参加登録詳細　https://pttokyo42.com/join/

●申込期間

クレジットでの決済：2023 年 09 月 05 日（火）
※「口座振替での決済」「現金振込での決済」の申し込みは終了いたしました

●その他

1. 事前申込のみ・当日受付なし
2. 定員 500 名に達し次第終了
3. 託児所を準備しています。HP より 9 月 6 日 12 時までにお申し込みください。託児に関する詳細は大会 HP よりご確認下さい

227 号の目次

第４２回東京都理学療法学術大会準備委員会 …… 1
第５９回日本理学療法学術研修大会準備委員会 …… 2
第１０回日本地域理学療法学会学術大会準備委員会 …… 3
エスカレーターマナーアップ推進委員会 …… 4～5
災害対策委員会 …… 6～7
地域活性局 ブロック・支部活動 …… 8～12
広報局外宣部 …… 12
理学療法関連機器開発委員会 …… 13
スポーツ局 …… 14
スポーツ局スポーツ支援・推進部 …… 15～21
スポーツ局子どもの健康・安全部 …… 22～28
スポーツ局パラスポーツ部 …… 29
広報局 …… 30～31
学術局学術誌編集部 …… 32～33
編集後記 …… 33

第５９回日本理学療法学術研修大会は東京都が担当いたします

２０２４年度の第 59 回日本理学療法学術研修大会は東京都理学療法士協会が担当いたします。大会長は豊田輝（帝京科学大学）、副大会長は池田由美（東京都立大学）、準備委員長は岡安健（東京医科歯科大学）です。公式ホームページは９月公開を予定しております。

第５９回 日本理学療法学術研修大会 in 東京

59th NICHIKEN 2024/6/29-30 in Tokyo

2024 Tokyo Japan

技能がつなぐ未来への進歩

～理学療法士としての価値軸を育む～

対面開催

会　　期　2024. 6.29-30

会　　場　東京国際フォーラム

〒100-0005　東京都千代田区丸の内 3-5-1

大 会 長　豊田　輝　帝京科学大学
副大会長　池田由美　東京都立大学
準備委員長　岡安　健　東京医科歯科大学病院

主　催　公益社団法人 日本理学療法士協会 Japanese Physical Therapy Association　担当士会　公益社団法人 東京都理学療法士協会

2024 The 59th annual training workshop for clinical skills of Japanese Physical Therapy Association in TOKYO

「第 10 回日本地域理学療法学会学術大会」開催のご案内　開催地　東京都八王子市

■学術大会概要■

1．名称　　第 10 回日本地域理学療法学会学術大会

大会テーマ「変貌する地域社会と理学療法士の新しい役割」

2．会期　　2023 年 12 月 16 日 (土) ～ 12 月 17 日 (日)

3．会場　　東京都立大学 南大沢キャンパス

〒 192-0397 東京都八王子市南大沢 1-1

4．学術大会長　　浅川康吉（東京都立大学）

副学術大会長　隆島研吾（神奈川県立保健福祉大学名誉教授）

準備委員長　　田島敬之（東京都立大学）

5．演題申込期間　2023 年 6 月 1 日（木）12:00 ～ 8 月 17 日（日）12:00（終了いたしました）

6．参加申込時期（事前登録）　　2023 年 9 月 16 日（土）～受付開始（予定）

■公式 Twitter の紹介■

第 10 回日本地域理学療法学会学術大会公式 Twitter では、これまでに学術大会に関連した情報に加えて、地域理学療法に関する情報、八王子の魅力についての情報を発信してきました。今後も様々な情報を発信していきますので、まだご覧になっていない方は内容を確認していただき、ぜひフォローをお願いいたします。

公式 Twitter　　https://twitter.com/10thjsccpt

■演題登録に関して■

演題登録に関して、演題登録ページを熟読していただいた上で、登録に臨んでいただきますようお願いいたします。演題登録を行う際には、登録すべき内容を事前に決定・準備していただいてから登録作業を開始してください。

演題登録は地域理学療法に寄与する内容であれば、どなたでも登録することができます。また、本学術大会では学会参加経験のない方や発表経験の少ない方、これから地域理学療法学を学び、実践しようと思う方のために CCPT デビューセッションを設けております。皆様の発表や交流を通して、地域理学療法が発展していきますので、多くの方からの演題登録をお待ちしております。

■ 2023 年度 専門理学療法士 新規申請予定の方へのお知らせ■

2023 年度の専門理学療法士口頭試問と第 10 回日本地域理学療法学会学術大会 2 日目の日程と重なっております。演題発表を予定されている方はご注意ください。

なお、演題発表と専門理学療法士口頭試問の日程が重なった場合ですが、共同演者の先生に代理でご発表がいただけるように、予定の調整をお願いいたします。

エスカレーターマナーアップ推進委員会

報　告

委員長　齋藤　弘

オリジナルまんが教材の完成 ～「わけがあってこちら側に止まっています～心のバリアフリ～」～

2023 年 5 月 21 日に小学生向けまんが教材の完成お披露目会議が開催されました。「障がいがある」という理由で、できることや選べる道が少なくなってしまう。心の中にある、目に見えないバリアをなくすために、『自分とは違う、色々な事情を持った人たちと協力して仲良く暮らしていく力』『誰かの困っていることや、つらさを想像して、よりそう力』『みんなが気持ちよく暮らせるように、色々な意見をまとめて実行していく力』を育むためのまんが教材を作成いたしました。作成に当たって、委員だけではなくエスカレーター業者、学校教員、「わけがあってこちら側に止まりたい」当事者、小学生など多くの方にご協力いただき完成することができました。

特設 HP を作成し、無料でダウンロード・使用ができるようになっております。今後は、こちらの教材も使用した小学生向けの講義などの活動も展開していければと考えております。是非、多くの方に手に取っていただきご活用いただけると幸いです。

〈特設 HP　QR コード〉

特設 HP：https://www.pttokyo.net/esca/　2023 年 6 月 9 日から特設サイトよりまんが教材の無料提供を開始しております

当日の取材記事：NHK ニュース（こちらから）

エスカレーターマナーアップキーホルダ 英語版作成

2025 年に行われる World Physiotherapy2025 学会（世界理学療法連盟学会）や大阪万博など国際的なイベントが多くなる 2025 年に向けて、エスカレーターマナーアップキーホルダ（とまのるエスカキーホルダ）の英語版を作成いたしました。伝えるのが難しい「わけあってこちら側で止まっています」のニュアンスを通訳してもらうのに、「英語にないなら作っちゃえ！」でご著名な通訳者、橋本美穂様に依頼させていただきました。

『Escalator Etiquette：Stop walking & be mindful of others 』

直訳すると「他の乗客に配慮して」歩くのをやめてね。Etiquette や mindful というワードをもって礼儀作法としての意味や日本人らしいあったかさを感じるものとなりました。完成品の配布にはもう少々お時間いただきます。改めてリリース情報はお伝えしますので少々お待ちください！

国際化に向けて Twitter（現：X）も開始いたしました。

最新情報を配信してまいりますので是非フォローをよろしくお願いいたします。

Twitter（現：X）：https://twitter.com/tomanoru_esca

エスカレーターマナーアップ推進委員会

報　告

委員長　齋藤　弘

インクルーシブ教育体験事業「共生社会ってなんだろう？」イベント開催

日時：2023 年 8 月 6 日（日）　13：30 ～ 16：00
会場：BPM イベントスペース（世田谷区）
参加者：23 名の小学生と保護者

2023 年 5 月に完成した、まんが教材を使用して小学生を対象としたインクルーシブ教育体験事業「共生社会ってなんだろう？」を実施いたしました。

「障がいがある」という理由で排除されてしまう、できることや選べる道が少なくなってしまう状況が日本にはまだ存在します。障がいを抱える方を支える理学療法士として、多様な他者がともに共存していく社会 (共生社会) への理解を深めるためのインクルーシブ教育イベントを考え計画させていただきました。

今回の体験イベントは、「子どもゆめ基金」の助成を受けて、「わけがあってこちら側に止まっています～心のバリアフリ～」まんが教材を活用したワークショップやボッチャ体験を実施して、様々な人が共生する社会の在り方を考えるきっかけ作りに取り組みました。イベントは現役の学校の先生や理学療法士らが全面的にサポートを行い、児童らが楽しく学べるイベントとして多くの方に参加していただき実施することができました。参加された児童、ご家族様からも好評のコメントをいただきとても良いイベントとすることができました。

今後も理学療法士として社会にできることを形にする事業として実施していけるよう、継続的に活動してまいります。

当日の様子の報道（NHK ニュース：動画あり）：
https://www3.nhk.or.jp/shutoken-news/20230807/1000095656.html

エスカレーター「歩かず立ち止まろう」キャンペーン

エスカレーターを安全にご利用いただくために、2023 年 7 月 24 日（月）～ 8 月 31 日 (木) の期間にて全国の鉄道事業者 56 社局・（公社）東京都理学療法士協会を含む 4 団体や空港施設、商業施設、自治体と共同で、エスカレーターの安全利用を呼びかけるキャンペーンを実施しています。

このキャンペーンはエスカレーター利用者が安心・安全に利用できるよう歩かず立ち止まる、手すりにつかまることを呼びかけるキャンペーンとなります。当協会として,「歩かずに立ち止まろう」「手すりにつかまろう」などの呼びかけを SNS 等で実施いたします。

詳細（都士会 HP、プレスリリース等）：https://www.pttokyo.net/info/2023/07/21467.html

報告者：小林和樹（竹川病院）村田敬明（大久野病院訪問看護ステーション）

報　告

委員長　松本　浩一

第 18 回災害時安否確認システム予行演習のお知らせ

東京都理学療法士協会では、東京都作業療法士会ならびに東京都言語聴覚士会と合同で毎年 2 回実施している災害時安否確認システム予行演習を下記内容で実施します。皆様、奮ってご参加いただければと思います。

【災害時安否確認システム】

概　要：Google フォームを使用した安否確認情報登録

目　的：大規模災害等発災時における会員の安否状況と各地域の被災状況を確認し災害支援に役立てる

【災害時安否確認システム予行演習】

日　時：　2023 年 3 月 11 日（土）～ 2023 年 3 月 18 日（土）

対　象：　理学療法士・作業療法士・言語聴覚士

方　法：　URL 又は QR コードから Google フォームにアクセスし情報を登録して下さい

備　考：　東京都作業療法士会・東京都言語聴覚士会との合同開催となります

施設単位ではなく個人単位での参加（登録）となりますので注意ください

＜ URL ＞　　＜ QR コード＞

https://forms.gle/tCfgJB93NE7gfGo29

【お問合せ先】

医療法人財団健貢会総合東京病院 診療技術部 リハビリテーション科　松本浩一（理学療法士）

TEL: 03-3387-5119（直通）　／　E-mail: tokyopt.saigai@gmail.com

＜災害時安否確認システム予行演習参加方法＞　★所要時間最短 1 分未満

① URL 又は QR コードから Google フォームにアクセスする
※画像は過去使用したフォームです

② 氏名や被害状況などの必要情報を記載・選択する

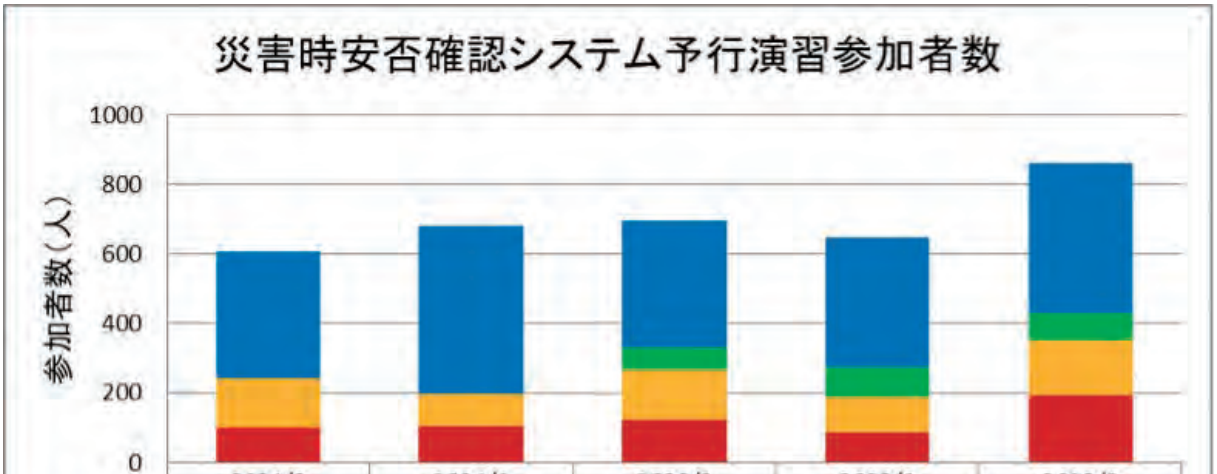
③ 送信（登録）して終了です

災害対策委員会

報　告

委員長　松本　浩一

＜災害時安否確認システム予行演習参加者数＞



	2021/3	2021/9	2022/3	2022/9	2023/3
会員	365	485	366	370	432
非会員			63	85	80
OT	138	91	145	105	156
ST	102	104	121	85	194

●前回（第 17 回：R5.3.11 ～ 3.18）結果

（青色：参加者数少ない⇔赤色：参加者数多い）

●前々回（第 16 回 R4.9.1 ～ 9.8）結果

（青色：参加者数少ない⇔赤色：参加者数多い）

【概要】

皆様のご理解とご協力により職種を問わず参加者数は増加傾向であり、理学療法士における参加者数の地域毎の偏りも徐々に縮小しつつあります。会員数に対する参加者数の割合が低いことが課題となっており、周知方法の検討・変更など行っています。皆様、更なるご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

地域活性局　ブロック・支部活動報告

報　告

局長　中澤 幹夫

区中央部・区南部・島しょブロック　大田区支部

第 16 回おおたユニバーサル駅伝大会での活動報告

日時：令和５年６月４日（日）

場所：東京都大田区　平和の森公園

サポートスタッフ：３名

内容：コロナ禍となってからは初めての通常開催となった第 16 回おおたユニバーサル駅伝大会に事前会議から当日の運営、駅伝のランナーとして関わりました。参加者は子供から高齢者、健常者から視覚・聴覚・身体機能等に障がいを持つ方など多様な世代・身体状況の地域住民が選手として 100 名以上参加していました。その地域住民が大会当日に初めて顔を合わせ１つのチームとなり声を掛け合い、サポートしながら襷をつなぎました。駅伝のほかにも聴覚障害のある学生たちのダンス、国際交流のブースなどユニバーサルなイベントとなっていました。

運営ボランティアとして地域の高校 / 大学の生徒が多くと参加しており、イベントを通じて地域住民のつながりのみでなく、障害のある当事者やそのご家族との関わることで普段の生活では得られない興味関心・理解が深まるきっかけになると感じました。私自身、地域住民の皆さんと楽しみながら参加することができ職場とは異なる経験をすることができました。

報告者：西村雄太（東馬込しば整形外科）

地域活性局　ブロック・支部活動報告

報　告

局長　中澤 幹夫

区中央部・区南部・島しょブロック　大田区支部

第 10 回おおたスポーツ健康フェスタでの活動報告

日時：令和５年７月１日

場所：大田区総合体育館

内容：今回のおおたスポーツ健康フェスタでは「腰痛に効くストレッチ」と「めざせ美姿勢！～体幹からキレイに～」とのテーマで健康講座を実施しました。「腰痛に効くストレッチ」では幅広い年齢の方が参加してくださり、多くの参加者と一緒にストレッチを行いました。「めざせ美姿勢！～体幹からキレイに～」では経産婦を対象としていましたが男性も含め広い世代の方に参加していただき産後に起こりやすいマイナートラブルや姿勢改善に向けたインナーマッスルを中心とした体幹の筋力トレーニング等の講座を行いました。来年以降も同様に理学療法士の立場から地域の方々にお伝えしていければと思います。

報告者：大塚　里紗（蒲田リハビリテーション病院）

報　告

局長　中澤 幹夫

区西北部ブロック部　北区支部

理学療法士による介護予防体操教室の活動

日　時：2023 年 7 月 20 日（木）

会　場：東京都障害者総合スポーツセンター体育館

講　師：渡邊祐介

補　助：岩山　睦

参加者：11 名

内容：この度は東京都障害者総合スポーツセンターの介護予防教室として障害者の方々を対象に体操教室を実施して参りました。今回は椅子に座ってできる下肢の運動を実施しました。

参加者は様々で切断の方、片麻痺の方、人工関節の方などがいらっしゃいました。下肢のアライメントから疼痛が出現しやすくなる部位の説明をしながら、下肢の軽運動から筋力強化運動まで実施しました。参加者の方々は普段から体育館を利用されている方々で運動や自身の身体にも関心が高く、真剣に運動に参加して頂きました。

今年度は全部で 3 回の教室を予定しております。次回は 10 月に体幹の運動教室を開催できればと考えています。参加者の皆さんには楽しんで頂きながら実施してもらえればと考えておりますので、今後も盛り上げていければと思います。

報告：浮間中央病院　渡邊祐介

報　告

局長　中澤 幹夫

区西北部ブロック部　練馬区支部

練馬区支部学校保健生涯教育支援の活動報告

日時：令和５年７月27日（木）　14:30～
場所：練馬区立大泉東小学校
対象者：小学校養護教諭９名

講師：古庄 秀明氏（練馬光が丘病院）
テーマ：理学療法士と養護教諭の協働
アシスタント：理学療法士５名
内容：

現在、練馬区支部の学校保健事業は小学校の養護教諭の先生方からの依頼を受けて活動しております。今回は、まず「理学療法士の紹介と練馬区支部での活動実績、小学生に向けたケガの予防」について古庄秀明氏から養護教諭の先生方へ講演を致しました。その後にディスカッション形式で小学生における実際の課題（体力低下やケガの増加など）について養護教諭の先生方から共有をして頂きました。「体力低下」の内容として、練馬区（特に大泉地区）の体力テストの現状（平均点を下回っている）と、体をうまく動かすことのできない（例：ボールを前に投げることができない）生徒が多いことが挙げられました。原因の推察として、コロナ禍の影響で外出頻度の減少と受験関連で外出を避ける（自主休校者の増加）児童の増加などの社会的背景や、休み時間に室内で過ごす児童の増加（遊び方の変化）が影響していると考えられるそうです。一部の小学校では、この課題に対して、身体機能維持を目的に外で遊ぶ時間をあえて設ける取り組みを行っているそうです。「ケガの増加」については具体例も出しつつ、体の使い方や硬さが影響しているのではないかと考えられました。

練馬区支部では、今後も多くの学校保健事業を継続して行っていきたいと考えております。理学療法士と養護教諭が連携することで、今の児童が抱える問題を解決できる一助になる可能性があります。今後とも密に連携を取って実際の取り組みに生かしていきたいと思います。

報告者：菅野雄大（地域医療振興協会　練馬光が丘病院）

地域活性局　ブロック・支部活動報告

報　告

局長　中澤 幹夫

西多摩南多摩ブロック　青梅市支部研修会

青梅市支部研修会
【足部から膝関節の運動器疾患～リハビリテーションに活かせる診断と画像～】
日時：令和５年７月13日（木）　18：30～20：00
場所：WEB セミナー (ZOOM)
講師：三箇島吉統医師（高木病院副院長　整形外科統括部長　青梅膝関節センター長）
参加者：87 名：PT86 名（うち都市会員 48 名）その他医療従事者１名
内容：第１・２部「日常よくみる足の疾患・外傷」をテーマに疾患別に起きる症状の説明から画像を用いてわかりやすくご教授して頂きました。
第３・４部「膝の画像診断、人工膝関節」をテーマに前十字靭帯損傷の画像診断ポイント、人工膝関節（TKA）の最近のトレンド・知見を手術動画と一緒にご教授して頂きました。
第５部では、質疑応答を行いました。臨床で困っている事や疑問を講師の先生へ聞ける機会は、受講者の知識をさらにアップデートすることへ繋がっていたと思います。広い経験年数の受講者から質問がでるなど有意義な時間を過ごすことが出来ました。
今回の研修では、急性期、回復期、生活期など様々な施設から参加して頂けました。その為、青梅市支部としましては、今後も最新の医療技術や知識をアップデートできる機会を提供していきたいと思います。

広報局外宣部

報　告

部長　裵　東海

【活動報告】第 21 回　看護フェスタ

日　　時：2023 年５月13日（土）　12:00～16:00
会　　場：新宿区西新宿 4-2-19　東京都看護協会会館
対　　象：ブース来訪者　139 名
スタッフ：小川大輝　板井恵輔
概　　要：
東京都看護協会会館にて看護フェスタが開催され、東京都理学療法士協会としてもブース出展し参加致しました。
内　　容：
　本年度の看護フェスタでは「見る」「知る」「体験する」「相談する」をコンセプトに健康チェックや健康相談等を行っており、本協会では「筋肉から分かる身体年齢」を表題に握力・大腿四頭筋筋力の測定を実施しました。方法は、握力計・ハンドヘルドダイナモメーターを使用し、全国平均値から簡易的に身体年齢をお伝えする形を取りました。
　本年度より新宿西口広場から東京都看護協会会館へと開催場所を変更し、一般の方々延べ 200 人以上が参加されました。本協会ブースにもお子様からご高齢の計 139 名の方々がお立ち寄りくださり、測定実施やノベルティ配布を通して様々な方に理学療法士を知っていただける活動ができました。
　開催中は皆様ご自身の測定結果と平均値を見比べながら、筋力向上のためにはどのような運動をしたら良いのか、握力や下肢の筋力を向上させることでどのような利点があるのかといったご質問を多数いただき、ご自身の身体に対する関心を深めるきっかけになったことと考えております。

報告者：外宣部　小川大輝　板井恵輔（緑成会病院）

委員長　小川　智美

理学療法機器・評価測定機器および
快適な生活を送るための道具の試作品（アイデア）募集

＜理学療法関連機器開発委員会　機器開発助成事業＞

東京都理学療法士協会では今年度も、機器開発に関する助成を行います。
簡便に作成できる理学療法機器・評価測定機器の試作や、自分自身やご家族の方が日常生活を送りやすくするための道具を自作したという方を対象としています。

試作品を作製してご応募いただいた場合、上限１万円まで助成いたします。助成にあたり、試作品作製時の
レポート、領収書の提出をお願いしています。領収書は破棄せず保管をお願いいたします。

締め切りは、2023 年 12 月 23 日（土）です。

詳しい応募要項をご希望の方は下記メールアドレス宛に「機器開発助成　募集要項希望」とタイトルをつけて
下記メールアドレスまでご連絡ください。
皆様からのご連絡をお待ちしています。
なお、ご不明な点に関するお問い合わせも下記メールアドレスまでお願いいたします

連絡先メールアドレス：ptkanrenkikikaihatu@gmail.com
担当：理学療法関連機器開発委員会　小川　智美
＊１週間以上返信のない場合は、東京都理学療法士協会　事務局までご連絡ください。

＊応募の試作品やアイデアの特許権などに関しては、当会では関与いたしませんので、ご承知おきください。
＊明らかに商品化を前提としたご応募および広報活動とみなされる場合には、お断りすることがあります。

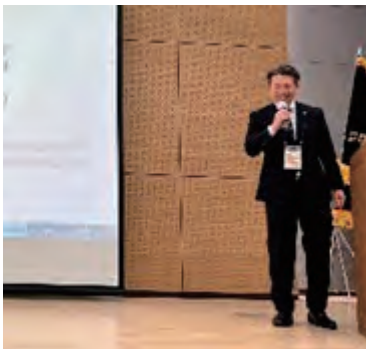
1．ソウル理学療法士協会との国際交流

東京都理学療法士協会はソウル理学療法士協会との国際交流とし、毎年相互に訪韓・訪日し学会（ソウル理学療法士協会側は免許更新のための補習教育）にて講演・参加及び施設見学をして来ました。今年度は本会が訪韓し、「果川障害者総合福祉館」の施設見学と「ハンリム大学江東聖心病院」を会場としたソウル学会にて補修教育講義を行いました。プログラムはソウル士協会からの要望でスポーツ関連内容の構成としました。（2023 年 6 月 24 日～ 25 日）

・第 1 部 / 渡邊祐介部長：「フェンシング大会におけるスポーツ外傷発生状況報告と EAP」
・第 2 部 / 鈴木享之次長：「スポーツ現場における急性期対応（搬送法と PPE の扱い）」
・第 3 部 / 西條　攻副部長：「足関節不安定性に対するテーピングの考え方」
・第 4 部 / 森本孝則副部長：「児童生徒の現代的健康課題（正しい姿勢とコーディネーショントレーニング）」

スポーツ局の活動を海外で紹介する機会となりました。この機会を頂きましたソウル理学療法士協会並びに東京都理学療法士協会の皆さま、そして何より本講義にあたりご準備ご協力下さった国際部の菅原玲子部長と萩原香織先生、そして通訳をご担当下さった東京衛生学園専門学校の康徳龍先生と長崎みなとメディカルセンターの禹炫在先生、皆様に心から感謝致します。

報告／スポーツ局次長　鈴木享之



2．JSPO-AT 検定試験合格／渡邊祐介氏

公益財団法人日本スポーツ協会（JSPO）の令和 4 年度公認アスレティックトレーナー検定試験に渡邊祐介氏（子どもの健康・安全部部長／医療法人社団　博栄会　リハビリテーション科　室長）が合格しました。

※推薦団体／日本フェンシング協会

報告／局長　板倉尚子

【活動報告】パラフェンシングサポート

日時：2023 年 5 月 27 日、6 月 3 日、6 月 17 日、7 月 1 日、7 月 15 日、7 月 22 日（計 6 回）
場所：江戸川区スポーツセンター
参加者：延べ 34 名
参加理学療法士：述べ 19 名

江戸川区スポーツセンターで行われている車いすフェンシング教室を、東京都車いすフェンシング協会からご依頼を頂き､昨年からサポートしております。教室内では選手のストレッチや車椅子シーティング、移乗の介助や機器セッティングの介助などを行っております。
7 月 30 日にパラフェンシング全日本選手権が初開催されることもあり、選手たちは気持ちを新たに練習に励んでおりました。
練習強度が上がり身体の負荷も増加していますが、身体のケアに対しての意識も選手の中で高まってきており、練習中の外傷や障害も無く、充実した練習ができている印象があります。
協会の方からも、選手たちに身体のケアについての重要性を意識させる声掛けもあり、理学療法士として責任とやりがいを感じております。
引き続き、選手の個別性を考慮したストレッチや動作の指導を提案し、選手たちの競技力向上や障害予防を図っていければ幸いです。

報告者：スポーツ支援・推進部 宮川大 (田無病院)

報　告

局長　板倉 尚子

【活動報告】EDORIKU パラ陸上教室サポート

日程：2023 年 5 月 20 日、6 月 17 日（計 2 回）
会場：江戸川区陸上競技場
参加者総数：延べ 13 名
派遣者総数：延べ 8 名

江戸川区では今年度も『EDORIKU パラ陸上教室』を 5 月から全 5 回を予定しており、今回第 2 回・第 3 回目の教室が行われました。
江戸川区スポーツ振興課パラスポーツ係様からのご依頼を頂き、サポートを行っております。
パラ陸上教室は小学生以上の車いす利用の方を対象とした教室で、講師の関東パラ陸上競技協会の方の講義からはじまり、体力テストやレーサー走行を行いました。その中で私たちは、教室開始前にレーサー車いすの調整、参加者への準備体操および整理体操、レーサー車いすへの移乗介助、シーティング設定、走行サポートなどを行っております。特に今回の教室では天候にも恵まれ、気温が上昇した為、暑さ対策をしながらのサポートとなりました。体温調節がうまくできない参加者の方もいらっしゃる為、定期的な休憩や水分補給を促しながら進めて参りました。教室を重ねるごとに徐々に参加者も増えており、楽しくパラ陸上を体験できる教室として参加される方もいれば、大会に出場して良い記録を目指す競技力向上を目的に参加される方もいらっしゃいます。教室のサポートメンバーと協力して、参加者の皆様が安心して参加して頂けるようサポートしております。
今後も参加者の皆様に、体を動かす楽しさを伝えていきたいと思います。今回ご協力下さった皆様有難うございました。

報告者：スポーツ局スポーツ支援・推進部　鈴木真治（森山ケアセンター）

報　告

局長　板倉 尚子

【活動報告】フェンシング大会サポート

日時：2023 年 5 月 20 日・21 日・27 日・28 日、6 月 3 日・4 日・17 日・24 日・25 日、
7 月 1 日・2 日・8 日・9 日（計 13 日）
会場：大蔵第二運動場体育館、台東リバーサイドスポーツセンター、北区赤羽体育館、北区滝野川体育館
参加選手：述べ 1053 人
派遣者数：述べ 30 名

日本フェンシング協会様、東京都フェンシング協会様、関東学生フェンシング連盟様のご依頼によりフェンシング競技大会のサポートに継続して入らせて頂いております。
フェンシング競技大会では医師のメディカルコントロールのもと、理学療法士が急性期対応やメディカルサポートを行っております。今回からスポーツ局の技能テストを合格した理学療法士がスポーツ現場活動の研修を行うため、アシスタントとしてフェンシング競技大会に参加しております。
アイスバッグの作り方や選手へのテーピングの見学等初めて経験することが多いなかで、少しでも多くのことを学ぼうという姿勢が非常に印象的でした。
「スポーツに関わりたい」、「スポーツ理学療法を学びたい」、「スポーツ選手の役に立ちたい」という気持ちで現場活動に参加してくれる理学療法士が、地域スポーツの支えになっていると感じます。
スポーツ局では、少しでもスポーツに関わりたいと思う理学療法士を今後ともサポートして行きたいと思います。

報告者：スポーツ局スポーツ支援・推進部　生井真樹（世田谷人工関節・脊椎クリニック）

【活動報告】第８回全国ボッチャ選抜甲子園

日時：2023 年 8 月 10 日
会場：墨田区総合体育館
参加選手：60 人 (16 チーム)
参加理学療法士 : 東京都理学療法士協会スポーツ支援・推進部から 3 名、日本理学療法士協会から 29 名 (述べ 32 名)

日本理学療法士協会様のご依頼により全国ボッチャ選抜甲子園のサポートに入らせて頂きました。全国の予選を勝ち上がった 16 チームによるトーナメント方式の大会で、日本代表選手によるイベント、DJ のパフォーマンスや音楽などが大会を大いに盛り上げていました。
この大会は日本理学療法士協会が後援しており、斎藤秀之会長も来賓として御出席されていました。
私たち理学療法士は、各チームに 2 名ずつでサポートに入り、試合会場やトイレ移動の誘導、移乗のサポート、食事場所の確保などを行いました。参加選手・スタッフ数が多かった事と待機エリアが狭かった事で車椅子や歩行での移動で接触リスクが高い状況でしたが、トラブルや事故なく終了致しました。
中学生、高校生の選手たちは、控えブースでは笑顔が多く見られましたが、試合になると一転して真剣な表情で競技に取り組み、負けて悔し泣きをする姿や相手を称える姿が印象的でした。
今回初めてボッチャというスポーツを間近でサポートしました。針の穴を通すようなショットのためにボールの硬さを調整したり、数ミリの角度調整をする選手とコーチの姿が印象的でした。また選手たちは障害を抱えながらも自分の有する身体機能を最大限に発揮しており、その技術の高さから改めて障害者スポーツの意義を感じる機会となりました。

報告者：スポーツ局スポーツ支援・推進部　上野央（自宅会員）

報　告

局長　板倉 尚子

【活動報告】ユニバーサルタイムサポート

・日程：5 月 28 日、6 月 7 日、7 月 5 日、7 月 12 日、8 月 13 日（計 5 回）
・会場：荻窪体育館、上井草スポーツセンター
・参加者：延べ 158 名
・派遣者数：延べ 23 名

杉並区スポーツ振興課様からのご依頼により開始したユニバーサルタイムは昨年 10 月に事業がスタートし、もつすぐ 1 年が経過しようとしております。
杉並区様と協力し進めてユニバーサルタイムの企画・運営を進めて参りましたが、この 1 年の間で通年の事業に事業が拡大し全国のメディアにも取り上げられる様になりました。
また今年度より実施会場も拡大され、荻窪体育館に加え、上井草スポーツセンターでもユニバーサルタイムが開催されました。
上井草スポーツセンターでは野球場 1 面を使用し、参加者が十分に体を動かせる会場となっており、全力で走るエリアや球技体験エリア、スポーツ車椅子の試乗会なども行われておりました。
障害のある方は思いっきり体を動かす機会が少なく、理学療法士や看護師、杉並区スポーツ推進委員等の医療従事者や専門家が従事する事で安心してスポーツを行う事が出来ると感じております。
理学療法士の役割も肢体不自由のみならず、視覚障がい、聴覚障がい、知的障がいを対象とし、とても幅広く活動していると感じます。またそのような活動がメディアにも取り上げられ、理学療法士の役割は地域社会にとても大きな役割となってきております。
この活動は杉並区だけに留まらず少しずつ 23 区内にも広がってきており、地域社会にとって理学療法士の力が一助となる様、今後もサポートに努めて参ります。

報告者：スポーツ局スポーツ支援・推進部　西條攻（三宿病院）

報　告

局長　板倉 尚子

【活動報告】江戸川区パラスポーツ初心者教室サポート

・日　程：2023 年 6 月 10 日（午前、午後実施）、7 月 8 日、8 月 12 日（午前、午後実施）（計 5 回）
・会　場：江戸川区中平井コミュニティ会館、小岩アーバンプラザ、東部区民館
・参加者総数：延べ 17 名
・派遣者総数：延べ 18 名

５月より江戸川区内の３か所の施設で全５回ずつ、合計 15 回の「パラスポーツ初心者教室」を開催しております。スポーツ支援・推進部では江戸川区文化共育部スポーツ振興課パラスポーツ係様からご依頼を頂き、参加者のサポートを行っております。
今回私は初めてパラスポーツ初心者教室のサポートに参加させて頂きました。参加者の皆様が楽しく運動している姿を見て、私も嬉しい気持ちになりました。パラスポーツ初心者教室では参加者に「運動が楽しい」、「また運動がしたい」と思ってもらえるような取り組みをしています。
私が今回教室でサポートさせて頂いた方は、初めて教室に参加された方でした。普段は在宅ワークが中心で運動の機会が少ないということで参加したとのことでした。運動前に問診、身体の状態を評価し、どのような運動が可能か、どのような運動が難しいかを考えてサポートしました。運動するにあたり全てをお手伝いするのではなく、難しい動きをサポートする事で参加者が「自分で体を動かしている」という認識が持てたのではないかと思います。最後には「また機会があれば参加したい」とのお言葉を頂いて嬉しく思いました。教室に参加した事がない方でも楽しく運動ができるよう、今後も活動を続けていきたいです。

報告者：スポーツ局スポーツ支援・推進部　野崎剛志（大橋病院）

【活動報告】青山学院大学フェンシング部サポート

・日時：5 月 20 日、6 月 10 日、6 月 17 日、7 月 8 日、7 月 15 日 (計 5 回)
・参加者：延べ 80 人
・参加理学療法士：延べ 8 人

スポーツ支援・推進部では、引き続き青山学院大学フェンシング部様のご依頼にてトレーニング指導やフィジカルチェック、フィジカルテストなどのサポートを定期的に行っております。
中でもフィジカルテストは 3 カ月に 1 回実施しております。測定内容は、立ち三段飛び、腕立伏臥腕屈伸テスト、SEBT、ファントテスト、握力、持久力テスト、敏捷性テスト、ターゲットトゥッシュなどを計測し、フェンシングの特性を考慮したフィジカルテストを実施しております。
測定結果を分析することで、ストロングポイントとウィークポイントを明確にし、競技力向上させるトレーニングプログラム作成・実施し、本年度も選手がケガなくプレーに専念できるように、フィジカルの向上と外傷・障害予防を実施していきます。

報告者：スポーツ支援・推進部 平良寛朗（池上総合病院）

報　告

局長　板倉 尚子

【活動報告】令和５年度　しながわ防災学校　Kids サマークラス

日　　時：令和５年８月６日（日）
会　　場：品川区役所第二庁舎２階 防災体験館
対　　象：小学 5,6 年生の親子 10 組（20 名）
講　　師：鈴木享之
アシスタント：佐伯　潤（スポーツ局外部委員：国士舘大学 防災・救急救助総合研究所 嘱託研究員）

概　　要：
令和５年品川区が開催する「しながわ防災学校　Kids サマークラス」にて「防災サイコロ」を用いた安全教育を小学５年生・６年生の親子を対象に行った。また、その後、防災体験館の消火器体験コーナーにて初期消火訓練を行った。

内　　容：
・東京都理学療法士協会活動及び理学療法士の役割に関する啓発活動
・「防災サイコロ」を用いた災害時火災についての安全教育
・感震ブレーカーに関するデモンストレーション
・初期消火訓練

報　　告：
　今回は「防災サイコロ」プログラムを使用して災害時火災についての「発生状況」「火災の危険性」「避難行動」についての安全教育を行った。①火事を起こさない（感震ブレーカーの設置、②火勢確認と初期消火、③避難行動の３つに着目し考え各グループの発表をして頂いた。また、災害火災発生にて転倒や火傷も含めケガを予防する事の大切さも伝えた。
参加者からは、「とても楽しかった」「勉強になった」と言った感想だけでなく質問も多く頂けた。引き続き理学療法士としての可能性を広げるべく研鑽を積んでいきたいと思う。

報告者：スポーツ局次長　鈴木享之（長汐病院）

報　告
局長　板倉 尚子

【活動報告】つくしんぼ保育園　安全教育（Kids 防災レスキューゲーム）

日　時：令和 5 年 5 月 20 日（土）
場　所：社会福祉法人つくしんぼ保育園
受講者：保護者 8 名　園児・児童 11 名
教　官：佐伯潤先生
補　助：鈴木享之先生、渡邊祐介

つくしんぼ保育園へ Kids 防災レスキューゲームを通して安全教育に行って参りました。日本での歩行中の交通事故死傷者数を年齢別に分類すると、高齢者よりも、7 歳児を中心に、8 歳児、6 歳児の数が多い。これは、常に保護者が同伴して外出をしていた幼稚園児期を過ぎ、登下校をはじめ、独り歩きをする機会が増加することに原因するものと推定されています。警察庁交通局の発表資料によれば、令和 4 年の小学生の交通事故による死者・重症者の発生時間帯として多いのが 14 時～ 17 時台となっています。夕暮れも近くなると、歩行者の視認性も低下し、事故発生の危険性が増大します。その点、反射材は自動車のヘッドライトを反射してドライバーに注意喚起を促すため、安全確保の観点から重要な資機材であると言えます。本安全教育では、6 歳から 8 歳の園児・児童とその保護者を対象に、暗所での反射材の効果を実体験を通して、反射材の重要性の認識を促すことを目的としています。
保育園の大広間を区切った一室に暗幕を張り巡らして、略暗室を設定し、机、椅子を用いて障害物を設置しました。略暗室内には、図 1 に示すような要救助者カードを 20 枚、ランダムに設置し 2 分以内に懐中電灯を用いて見つけ出すゲームを実施しました。結果は反射材のある要救助者カードのほうが、回収数が上昇しており、暗い環境下での発見が容易となる傾向があると考えられました。
園児・児童・保護者に対してどのようなことが安全な行動につながるかを実体験できる良い教育の機会になったと思います。講師の佐伯先生、参加された皆様、会場を提供して下さった保育園関係者の皆様、有難う御座いました。

報告者：子どもの健康・安全部　部長　渡邊祐介

報　告

局長　板倉 尚子

【活動報告】目黒区立宮前小学校　安全教育（給食室編）

日　　時：令和５年７月20日(木)
会　　場：目黒区立宮前小学校食堂・給食室
対　　象：職員等９名
講　　師：佐伯　潤
（スポーツ局外部委員：国士舘大学　防災・救急救助総合研究所 嘱託研究員）
アシスタント：板倉尚子（日本女子体育大学健康管理センター）鈴木享之

概　　要：
給食室内部観察にて火点となりえる場所・防火設備・消火設備・避難経路等の確認に加え、火災発生に対する初期消火（消火器・消火栓）訓練等の学校安全活動を行った。
内　　容：
・小学校における火災発生の現状と火災対応フローチャートについての講座
・室内通報の練習
・給食室内部監察と初期消火訓練（消火器・消火栓）
報　　告：
　火気や油を扱う給食室は、学校現場の中でも火災リスクの高い場所である。現在、東京都の小学校では年に11回の防災訓練が義務付けられているが、昼食等の準備時間帯に執り行われる事が多く、訓練のほとんどに給食室のスタッフは、参加することが困難である。
　今回は、教職員含め上記の方々を対象とした室内通報の練習、消火フローチャートの確認、初期消火訓練等の学校における安全教育を行った。
　学校内の構造を知り、児童生徒のけがを予防する事そして子どもを守る職員のけがを予防することは、教育現場における子どもの安全に繋がる。事に、家屋調査や転倒・障害予防に精通する理学療法士が子どもの安全の為この様な安全教育を行う事は重要であると考える。その為、今後も学校における様々な活動に励んで行きたいと思う。

報告者：スポーツ局次長　鈴木享之（長汐病院）

【報告】豊島区立富士見台小学校での体力測定会
報告者　西村敦法律事務所　弁護士　五十嵐　幸輝 先生

日　時：令和５年６月 16 日（金）
場　所：豊島区立富士見台小学校
学生数：320 名
理学療法士：14 名

この度は、東京都理学療法士協会の方のお声がけで、豊島区立富士見台小学校の体力測定を見学させていただきました。測定種目は、ソフトボール投げ、立ち幅跳び、反復横跳び、長座体前屈でした。

小学校の教員と理学療法士が協同して、限られた時間と人員のなかで、それも多数の活発な生徒に対して、正確かつ安全な体力測定を実施できるよう奮闘されていました。教員や理学療法士が、事前の打合せで測定方法・器具について細かい点まで確認・共有を行ったり、生徒の興味を引き、かつ、短時間で内容を理解してもらえるように説明の方法を工夫したりしている姿を近くで拝見し、こうした準備・工夫が充実した体育の授業を支えているのだと思いました。

また、普段の仕事では高齢者と接することが多いという理学療法士の方が、高齢者と子どもの違いを意識して説明の方法などを使い分ける工夫が必要になるため、子どもと関わる活動は理学療法士としての能力の幅を広げるという意味でも有意義であるという話をされていたのが印象に残りました。

私は弁護士として法律家の立場から、学校における体育・スポーツ事故の予防活動に取り組んでいます。その活動のなかで理学療法士の方々とのご縁があり、今回の見学のお声がけをいただけました。教員と理学療法士の教育・指導の姿、小学生の行動や体の使い方といった学校体育の現場を直接に見る機会を頂いたことで、今後学校の事故予防を考える際の現場のイメージがより鮮明なものになったと感じております。大変貴重な機会を頂きましたこと、心より感謝申し上げます。

写真：スタッフ集合写真（前列右から４番目が五十嵐先生）

報　告

局長　板倉 尚子

【活動報告】豊島区立富士見台小学校における学校保健委員会への参加

開催日時：令和５年７月６日（木）
場　　所：豊島区立富士見台小学校
開催形式：対面及び WEB 配信
参 加 者：会議出席者　10 名
　　参加保護者　21 名

今回、豊島区立富士見台小学校からの依頼を受け、校内で開催される学校保健委員会へ出席をしてきました。学校保健委員会は校医の先生による検診の結果報告や、栄養士による食事についての取り組み、養護教諭による講話などが行われる委員会です。東京都理学療法士協会の子どもの健康・安全部としては、子どもの体つくりについてこれまで学校と連携して取り組んできており、今年度は体力テストのサポート活動を行いましたので、それらの報告を行わせて頂きました。加えて、小学生年代での運動経験がとても重要であることもお伝えさせ頂きました。コロナウイルス感染症により、これまでは保護者の方々に向けてお話をする機会がありませんでした。今回は保護者の方に向けて直接、報告などをさせて頂くことが出来たのでとても良い機会となりました。今後も学校との連携を継続していき、児童の健康や体つくりについて貢献していきたいと思います。

報告者：子どもの健康・安全部　副部長　齋藤弘樹（大橋病院）

報　告

局長　板倉 尚子

【活動報告】練馬区立開進第二小学校での姿勢の授業

日　時：令和５年７月27日（木）
会　場：練馬区立開進第二小学校
対　象：小学１年生から５年生 計82名
講　師：齋藤弘樹先生
アシスタント：鈴木享之先生・渡邊祐介先生・森本孝則先生・岩山 睦

私たちは現代における健康課題であるスポーツ外傷・障害 運動不足や肥満、姿勢不良や運動器検診の事後措置などで児童生徒等が自ら適切に対応する方法を修学するためにエビデンスに基づいた保健教育を行っています。神経系の発達は一つの動きではなく さまざまな動きを経験することで刺激を受けて成長するため幼児期・学童期の運動が大切とされています。良い姿勢の授業から始まりアニマルウォーク、ボール投げ、ケンステップを用いた遊びを通して子供たちの健康に携わることが出来ました。児童たちからも「体のことを色々知れて楽しかった。体のこと気を付けよう」「したことがない体の動かし方をして楽しかった。」など意見も聞かれ、楽しんで本事業に参加して頂けました。このような活動を通して、子供たちの明るい未来を援助できるように理学療法士として今後も関わっていければと思います。

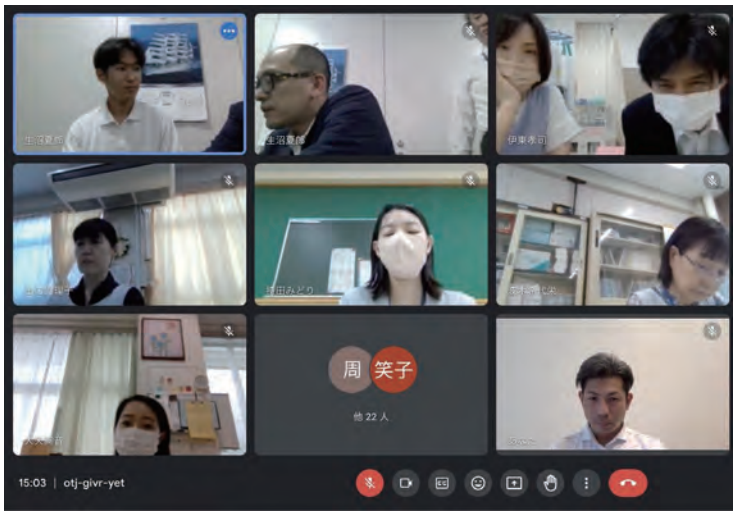
報告者：人材育成部　部長　岩山 睦（浮間中央病院）

報　告

局長　板倉 尚子

【活動報告】令和５年度保健主任研修

日　時：令和５年５月30日（火）
会　場：豊島区役所、オンライン開催
講　師：森本孝則
参加者：豊島区内の保健主任の先生、計30名



昨年度の保健主任研修に引き続き今年度も保健主任研修を御依頼頂き研修をさせて頂きました。今回のテーマは『保健に関する課題となっている分野について学び、日々の保健指導の改善を図る』でした。内容は、①学校における現状把握、②ケガをしない為に必要なこと、③運動器検診と私達の取り組みという構成でお話をさせて頂きました。
新型コロナウィルスの影響もあり、現代の児童生徒は肥満傾向で体力の低下が生じていると言われています。それ以前より、運動不足と単一スポーツでの運動過多の二極化が懸念されており、近年よりその傾向が強まっていると考えられます。

それらの対策として学校保健部では昨年度、運動器検診や体力テストの補助や姿勢やコーディネーショントレーニングの授業や体験等、様々な活動を行って参りました。今回の研修においても活動の根拠となる話や実際の動作体験等を行って頂きました。先生方に少しでも学びになることがあればと思い、そこから生徒さんが一人でも多く健康な人生を歩んで頂ければと願っています。

今回、このような貴重な機会を頂きました、豊島区教育委員会の皆様に心よりお礼申し上げます。

報告者：子どもの健康・安全部　副部長　森本孝則（Physical Care Room T）

報　告

局長　板倉 尚子

【活動報告】第 24 回東京都障害者スポーツ大会　コンディショニングルーム

【水泳競技】日時:2023 年 5 月 20 日（土)、21 日（日)、場所:東京アクアティクスセンター、利用者:11 名、4 名　参加スタッフ：5 名、4 名

【陸上競技】日時：2023 年 6 月 3 日（土)、場所：駒沢オリンピック公園総合運動場　利用者 31 名　参加スタッフ：8 名

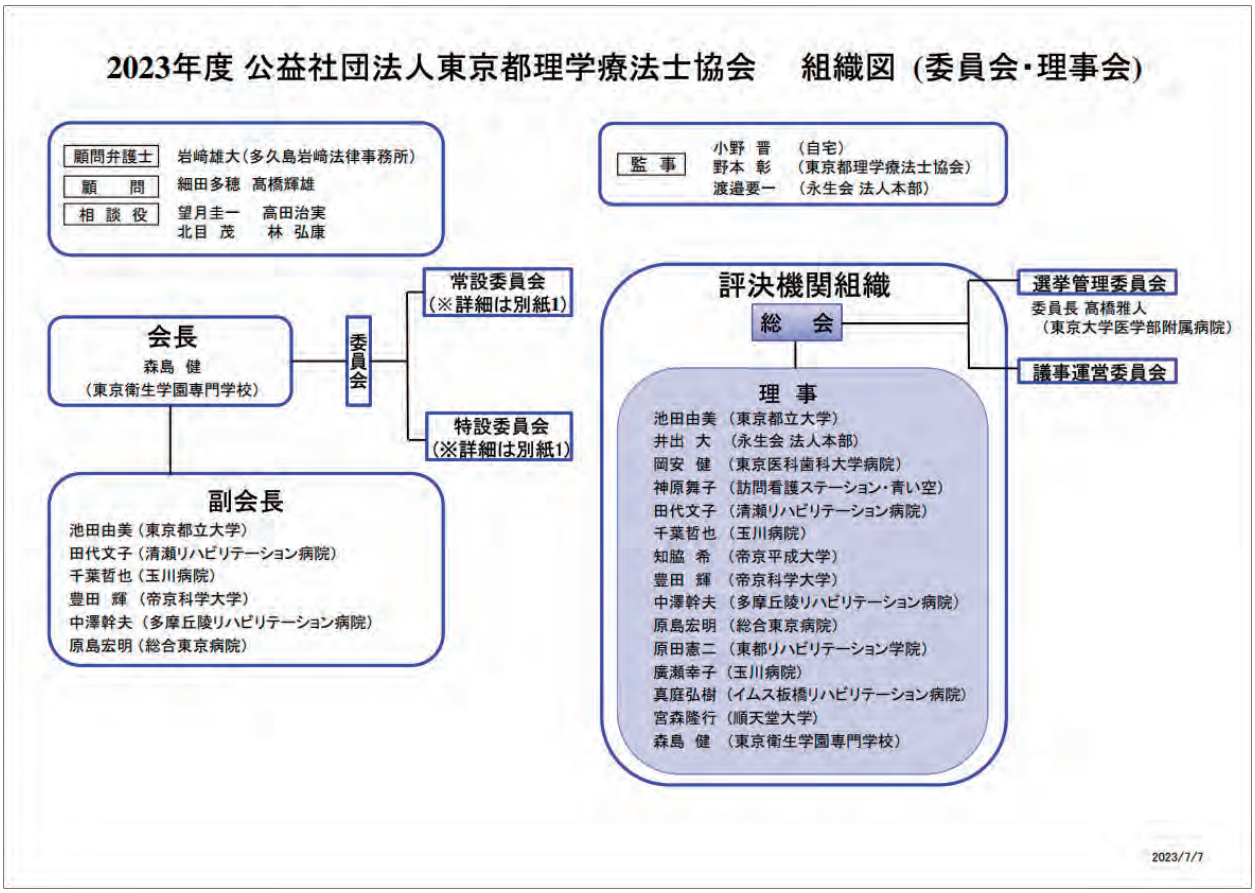
内容：新型コロナウイルス感染症が 5 類感染症に移行し、4 年ぶりに東京都障害者スポーツ大会におけるコンディショニングルームを開設しました。大会は感染症対策を講じた上で大会規模を縮小した開催となり、大会開催時間は短縮、競技者のエントリーは例年の半数以下で実施されました。水泳会場は初めて本大会で使用された会場であり、コンディショニングルームの場所の周知不足のためか利用者が少なく感じましたが、陸上では多くの選手が競技前に予約して競技後にクールダウンに訪れるといった利用の仕方をしていました。利用者の方から「以前も利用していた」「またお願いしたい」といった言葉をいただくことができ、今後も継続して東京都のパラスポーツ活動をサポートしていきたいと思います。

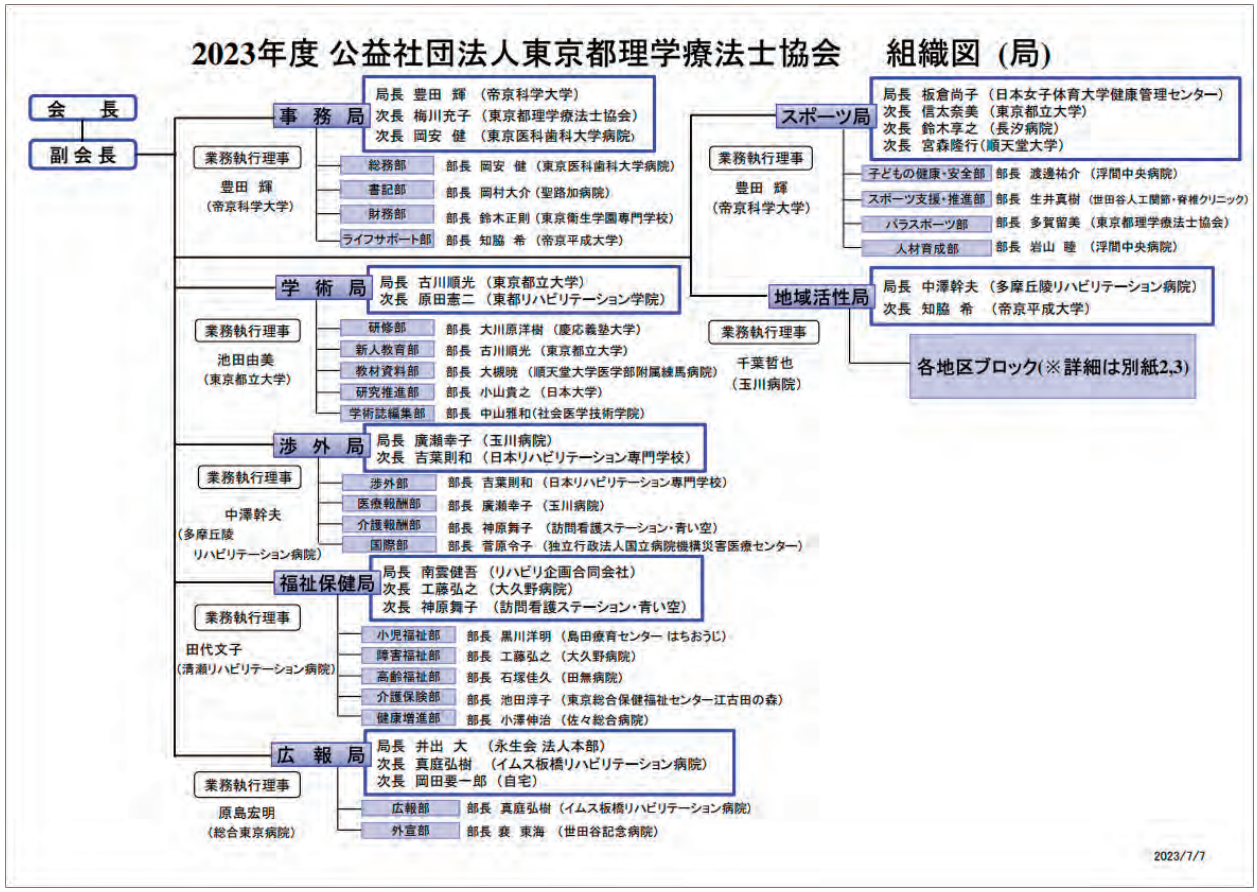
(以下、写真は陸上競技)

報告者：スポーツ局次長　信太奈美
(東京都立大学)

２０２３年度　組織図

組織図が 2023 年度の体制に更新されました。





２０２３年度　組織図

2023年度 公益社団法人東京都理学療法士協会　組織図（別紙1）

委員会

常設委員会

- 規約審議委員会　委員長 井上裕次（東京衛生学園専門学校）
- 表彰審査委員会　委員長 伊藤貴史（苑田会ニューロリハビリテーション病院）
- 都民の声委員会　委員長 齋藤 弘（辻内科循環器科歯科クリニック）
- 災害対策委員会　委員長 松本浩一（総合東京病院）
- 倫理委員会　委員長 齋藤弘樹（大橋病院）
- 政策検討委員会　委員長 遠藤 敦（総合東京病院）
- 学会検討委員会　委員長 中澤幹夫（多摩丘陵リハビリテーション病院）
- リハビリテーション専門職連携推進委員会　委員長 田代文子（清瀬リハビリテーション病院）
- 卒前教育検討委員会　委員長 池田由美（東京都立大学）

特設委員会

- 地域包括ケアシステム推進委員会　委員長 田中美和子（自宅）
- 理学療法関連機器開発委員会　委員長 小川智美（自宅）
- 本年度学会実行委員会　委員長 卜部吉文（大橋病院）
- 次年度学会準備委員会　委員長 今井覚志（慶応義塾大学病院）
- 公益事業推進委員会　委員長 原島宏明（総合東京病院）
- 公開講座準備委員会　委員長 小川英臣（東京医科歯科大学病院）
- 生活期共通評価作成委員会　委員長 南雲健吾（リハビリ企画合同会社）
- エスカレーターマナーアップ推進委員会　委員長 齋藤 弘（辻内科循環器科歯科クリニック）
- 組織運営検討委員会　委員長 豊田 輝（帝京科学大学）
- シニア人財活用委員会　委員長 千葉哲也（玉川病院）
- 障がい者の運動支援委員会　委員長 多賀留美（東京都理学療法士協会）

2023年度 公益社団法人東京都理学療法士協会　組織図（別紙2）

地域活性局

区中央部・区南部・島しょ部ブロック部　部長 伊藤滋唯（ケアセンター南大井）

- 大田区支部　支部長 板谷 匠（牧田総合病院）
- 品川区支部　支部長 伊藤滋唯（ケアセンター南大井）
- 千代田区支部　支部長 秋保光利（三井記念病院）
- 中央区支部　支部長 金井 良（専門学校東京医療学院）
- 台東区支部　支部長 川井 孝士（浅草病院）
- 港区支部　支部長 新井保久（済生会中央病院・乳児院）
- 文京区支部　支部長 岡安 健（東京医科歯科大学病院）
- 島しょ支部　支部長 小泉裕一（神津島村保健センター）

区西北部ブロック部　部長 卜部吉文（大橋病院）

- 北区支部　支部長 高橋勇貴（東京北医療センター）
- 板橋区支部　支部長 真庭弘樹（イムス板橋リハビリテーション病院）
- 豊島区支部　支部長 渡邊寿彦（ゆみのハートクリニック）
- 練馬区支部　支部長 赤城圭佑（辻内科循環器科歯科クリニック）

区西南部・区西部ブロック部　部長 今井覚志（慶応義塾大学病院）

- 中野区支部　支部長 原 辰成（総合東京病院）
- 杉並区支部　支部長 大澤諭樹彦（老健くぬぎ）
- 世田谷区支部　支部長 鹿島雄志（株式会社りはっぴい）
- 新宿区支部　支部長 中嶋裕介（JCHO東京新宿メディカルセンター）
- 渋谷区支部　支部長 山中誠一郎（初台リハビリテーション病院）
- 目黒区支部　支部長 田中佳紀（きむらてつや整形外科内科）

区東北部・区東部ブロック部　部長 下河辺雅也（山田記念病院）

- 江戸川区支部　支部長 笠原剛敏（東京臨海病院）
- 墨田区支部　支部長 輪違弘樹（エバーウォーク）
- 足立区支部　支部長 山ノ内聖一（医療法人社団福寿会）
- 江東区支部　支部長 渡辺信隆（訪問看護ステーションたんぽぽ）
- 荒川区支部　支部長 藤井孝光（株式会社あしすと）
- 葛飾区支部　支部長 石井庸太（イムスリハビリテーションセンター東京葛飾病院）

2023年度 公益社団法人東京都理学療法士協会　組織図（別紙3）

地域活性局

西多摩・南多摩ブロック部　部長 永見直明（多摩丘陵リハビリテーション病院）

- 町田市支部　支部長 永見直明（多摩丘陵リハビリテーション病院）
- 八王子市支部　支部長 渥美幹子（東京医科大学八王子医療センター）
- 福生市支部　支部長 植松博幸（公立福生病院）
- 羽村市支部　支部長 佐藤文雄（羽村三慶病院）
- 青梅市支部　支部長 長 正則（高木病院）
- あきる野市支部　支部長 廣實伸治（あきる台病院）
- 瑞穂町支部　支部長 佐藤雄介（介護老人保健施設 菜の花）
- 日の出町 奥多摩町 檜原村支部　支部長 工藤弘之（大久野病院）
- 多摩市支部　支部長 内田 学（東京医療学院大学）
- 日野市支部　支部長 小林健一（康明会ホームケアクリニック）
- 稲城市支部　支部長 松永 潤（稲城市立病院）

北多摩ブロック部　部長 宮田恒徳（高見澤整形外科）

- 小金井市支部　支部長 柳堀 明久（小金井太陽病院）
- 昭島市支部　支部長 富森 賢（あきしま相互病院）
- 東大和市支部　支部長 谷 英幸（東大和病院）
- 狛江市支部　支部長 三浦啓一（こまえ正吉苑）
- 西東京市支部　支部長 石塚 佳久（田無病院）
- 小平市支部　支部長 小林昴将（緑成会病院）
- 武蔵野市支部　支部長 前床 剛（武蔵野陽和会病院）
- 国分寺市支部　支部長 原嶋崇人（リハビリベース国分寺）
- 調布市支部　支部長 佐々木恭介（多摩川病院）
- 三鷹市支部　支部長 榎本雪絵（杏林大学）
- 府中市支部　支部長 岩見俊哉（オムソーリ訪問看護リハビリステーション府中）
- 武蔵村山市支部　支部長 篠原 亮（介護老人保健施設アルカディア）
- 東村山市支部　支部長　調整中
- 清瀬市 東久留米市支部　支部長　調整中
- 立川市 国立市支部　支部長 保科和央（栄福社会）

《執筆投稿規定》

1. 学術研究論文
2. 教育関係論文
3. 症例報告論文
4. 行政及び士会運営に関する論評等

【投稿者の資格】

公益社団法人東京都理学療法士協会会員に限る。但し会長が依頼した場合この限りではない。

【投稿原稿の条件】

投稿原稿は他誌に発表、または投稿中の原稿でないこと。本規定に従って作成すること。

【著作権】

本誌に搭載された論文の著作権は東京都理学療法士協会に属する。

【研究倫理】

ヘルシンキ宣言に基づき対象者の保護には十分留意し、説明と同意などの倫理的な配慮に関する記述を必ず行うこと。

【原稿の採択】

原稿の採択は複数の査読者の意見を参考に編集委員会において決定する。査読の結果、編集方針に従って原稿の修正を求めることがある。また、必要に応じて編集委員会の責任において字句の訂正を行うことがある。

【執筆規定】

1. 論文構成

1）標題（表題）：内容を具体的かつ的確に表し、できるだけ簡潔に記載する。原則として略語、略称は用いない。

2）キーワード：標題及び要旨から 3 個を抽出する。不十分な場合は本文から補充する。3）著者名、所属名

4）要旨：「目的」「方法」「結果」「結論」を含めて 400 字程度で記載する。

5）本文：下記の各部分から成り立っていることを原則とする。

① はじめに（序論、諸言、まえがき等）

② 対象および方法（症例紹介）：倫理的配慮を記述すること。

③ 結果

④ 考察

⑤ 結論（まとめ）

⑥ 文献：引用文献のみとして本文の引用順に並べる。本文の該当箇所の右肩に一連番号を付ける。引用文献の著者氏名が 3 名以上の場合、最初の 2 名を記載し、他は「・他」あるいは「et al.」とする。雑誌の場合は著者氏名、論文題目、雑誌名、巻、号、頁、西暦年号の順に記載する。単行本の場合は著者氏名、書名、編集者氏名、発行所名、発行地、年次、頁を記載する。

＜表記例＞

・藤田信子，桝田康彦・他：椅子座位における側方傾斜刺激に対する頸部・体幹・四肢の筋活動―筋電図学的分析．理学療法学 ,17:27-30,1990.

・Sepic,S.B,Murray,M.P,et al.:Strength and Range of motion in the Ankle in Two Age Groups of Men and Women.Am.J.Phys.Med,65:75-84,1986.

・真島英信，猪飼道夫：生体の運動機能とその制御 . 杏林書院 , 東京 ,1972,pp185-193.

・Junda,V.:Muscle Function Testing Butterworths ,London,1983,pp224-227.

6）図表

原寸でそのまま掲載する（作図や縮小はしない）。図の番号および標題は図の下に、表の場合は表の上につける。本文と図表は分けて作成し、表・図・写真の挿入位置を本文の右欄外に指示する。

2. 原稿規定分量

原則として 400 字詰め原稿用紙 20 枚・8000 字以内とする。

3. 文字表記

原則として現代かな使い、数字は算用数字，単位は国際単位系　（SI 単位）を用いる。

4. 略語

略語は初出時にフルスペルあるいは和訳も記載する。

5. 表紙頁，著者頁

論文には表紙頁と著者頁をつける。表紙には標題、キーワード (3 個)、本文ページ数、図表枚数、原稿文字数を記載する。著者頁には著者名、所属名、責任者連絡先（住所･電話番号･Email アドレス）を記載する。表紙頁，著者頁の後に要旨・本文・図表を改めて記載する。

6. ページ番号・行番号

原稿にはページ番号（最下部中央）と本文右（または左）に５行ごとに行番号を記載する。

【原稿送付方法および連絡先】

1）原稿送付先

原則として投稿原稿一式を１つのファイルにまとめ、電子メールに添付して下記へ送付する。上記が不可能な場合は問い合わせすること。

2）原稿送付先および連絡先

〒 189-0024　東京都小金井市中町 2-22-32

社会医学技術学院　　理学療法学科

(担当者) 中山雅和

TEL：042-384-1030

FAX：042-384-8508

E-mail：pt_tokyo_kikanshi@yahoo.co.jp

（平成 31 年 1 月 31 日　改定）

編集後記

東京都理学療法士協会会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか？ 227 号は第４２回東京都理学療法学術大会と第５９回日本理学療法学術研修大会、さらに東京都八王子市で 12 月に開催される第 10 回日本地域理学療法学会学術大会を取り上げました。ぜひともこのような機会をご活用いただきたいと思います。

さて東京都理学療法士協会広報部では Twitter、facebook、Instagram の SNS アカウントを運用しております。様々な媒体を通じて東京都理学療法士協会の活動は発信してまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

Twitter

https://twitter.com/TPTA_PR2023

facebook

https://www.facebook.com/profile.php?id=100091964630282

Instagram

https://www.instagram.com/tpta_pr2023/

公益社団法人 東京都理学療法士協会 正会員数

10,483 名（令和５年８月２５日現在）

（事務局 新住所）　〒 151-0053

東京都渋谷区代々木 1-58-7　ヴェラハイツ代々木 201

Tel：03-3370-9035　FAX：03-3370-9036